

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： がん関連ミスプライシング産物の時空間的運命の決定
2. 研究代表者： 吉見 昭秀（国立がん研究センター 研究所 分野長）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本研究課題は、スプライシング異常を含む RNA 異常に着目してがんの病態解明を進め、治療法開発に繋げることを目指して、「どのような性質を持ったエラー産物が、細胞内のどのような場所で、どのような仕組みによって処理されるのか、あるいは処理されず蛋白質に翻訳されるのか？」を解明するものである。フェーズ1では、思い通りに進まない系もあったにもかかわらず、克服の方向性を探索し、スプライシング異常を含む RNA 異常を検出する方法を見出すなど、着実に研究を進めた。フェーズ2では、しっかりした方法論で困難を乗り越え、新しい領域を切り拓くことを期待する。

以上